木川八一、	浜工業高	等専門学校	開講年度	令和06年度	(2024年度)	授業	業科目	物理 1			
<u> </u>		<u>VI. F. F. 157, FY</u>	ארד דשנייו	171日00十1久	(122	<u> </u>	1100-11-11			
<u>17日至1</u> 科目番号	KIHTK	102410			科目区分	Ţ.	 一般 / 必				
行 <u>日田与</u> 授業形態		講義			単位の種別と単		<u></u>				
皮莱形態 開設学科		機械工学科			対象学年		<u>復修早位</u> 1	. 4			
用政 <u>子科</u> 開設期		通年			週時間数		<u>1</u> 2				
			加田甘滋 ロザツー	郎州 第二学羽头	1			翌分 新温色版 プログレフ伽頭			
教科書/教	(材	高等子校 初第一学習社	7理基礎 田村剛二	即他 弗一子省在	、高寺子仪 物理 田	高等学校 物理 田村剛三郎他 第一学習社、新過程版 プログレス物理基礎					
担当教員		大村 泰,朝日	3 太郎								
到達目標	票										
2. 連動の 3. 仕事と	3 法則を理 力学的エネ	Ľ解し、物体に作 ベルギーの関係を	と理解し、エネルニ	ン、運動方程式を ギー保存則を用い	計算ができる。 :立て、加速度を求めた収支計算ができる 係式を立式して計算	5.					
ルーブリ	ノック										
			理想的な到達レ	標準的な到達レ	ベルの目	 安	未到達レベルの目安				
評価項目1	1		変位、速度、加えて理解し、等加いて変位、速度、ることができる。	(1) (2) (2) (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	速度の定	義につい	変位, 速度, 加速度の定義が理解 できず、個々の計算ができない。				
評価項目2	2		運動の三法則を た物体に対して 示し、適切な運 加速度を求める	動方程式を立て、	単独の物体に作 運動方程式を立 ることができる	て、加速		単独の物体に対しても作用する力 を図示できず、適切な運動方程式 を立てることができない。			
評価項目3	3		仕事と力学的エネルギーの定義と 関係式を理解し、エネルギー保存 則を用いたエネルギーの収支計算 ができる。 仕事および力学的エネル 義と関係式について理解 ができる。								
評価項目4				し、運動量保存則 った衝突時の関係	と関係式を理解	し、運動	量保存則	カ積と運動量の概念や関係式 解できず、個々の計算ができっ。			
 学科の3	到達目標	項目との関係									
工学基礎统		> > 0 (1)									
教育方法											
概要	<u> </u>	高専におい	て物理は他の専門	科目の基礎とな	 ろものである。物理	1ブ/ナ -	上学の甘:	 本を学び、物体の速度・加速度、			
			劉、)建劉(ソ)広以(、	力積と運動量、	力と仕事、力学的工	ネルギー	ハ子の壁/ ・保存則な	本を子び、初体の速度・加速度、 などの事項について理解する。			
授業の進む	サイフェア かかり かかり かかり かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい	授業は講義	 形式で行う。毎回	,	カと仕事、力学的エ	ネルギー	保存則な	本を子び、初体の速度・加速度、 どの事項について理解する。 意し作図や計算過程を記録しなが			
	め方・方法	授業は講義 題に取り組 物理では公 ら演習に取 業までに必	形式で行う。毎回 むこと。 式(法則)や解決 り組むこと。積極 ず単位を修得しな 超過し単位を修得	問題集の設問かるをただ暗記するの的に演習問題に	カと仕事、力学的工 ら課題を出すので、 のではなく、公式(取り組み、解法を学 。単位を修得せず進	ネルギー 演習ノー 法則) の んでほり 級した場	·保存則な - トを用意 トを用意 	どの事項について理解する。			
注意点		授業は講義 題に取り組 物理では公 ら演習に取 業までに必 欠課時数が	形式で行う。毎回 むこと。 式(法則)や解決 り組むこと。積極 ず単位を修得しな 超過し単位を修得	問題集の設問かるをただ暗記するの的に演習問題に	カと仕事、力学的工 ら課題を出すので、 のではなく、公式(取り組み、解法を学 。単位を修得せず進	ネルギー 演習ノー 法則) の んでほり 級した場	·保存則な - トを用意 トを用意 	どの事項について理解する。 意し作図や計算過程を記録しなが 開できる場面をきちんと理解しず 科目は専門基礎科目であるため、 位追認試験に合格する必要がある。			
注意点	の区分	授業は講義 題に取り組 物理では公 ら演習に取 業課時数が には出席す	形式で行う。毎回 むこと。 式(法則)や解注 り組むこと。積極 ず単位を修得した 超過し単位を修復 ること。	問題集の設問かまただ暗記する。 対に演習問題に 対ければならない けできなかった場	カと仕事、力学的工 ・ら課題を出すので、 のではなく、公式(取り組み、解法を学 ・単位を修得せず進 合は、進級しても単	ネルギー 演習ノ- 法則)の んがした場 位追認試	·保存則な - 卜を用意 意味や適 い。この 合は、受験	どの事項について理解する。 意し作図や計算過程を記録しなが 調できる場面をきちんと理解して 科目は専門基礎科目であるため、 位追認試験に合格する必要がある することができなくなるので、 対			
注意点 本科目の Webシラ	<u>の区分</u> バスと本校	授業は講義 題に取り組 物理では公 ら演までに必 欠課時数が には出席す	形式で行う。毎回 むこと。 式(法則)や解注 り組むこと。積極 ず単位を修得した 超過し単位を修復 ること。	問題集の設問かまただ暗記する。 対に演習問題に 対ければならない けできなかった場	カと仕事、力学的工 ・ら課題を出すので、 のではなく、公式(取り組み、解法を学 ・単位を修得せず進 合は、進級しても単	ネルギー 演習ノ- 法則)の んがした場 位追認試	·保存則な - 卜を用意 意味や適 い。この 合は、受験	どの事項について理解する。 意し作図や計算過程を記録しなが 開できる場面をきちんと理解しず 科目は専門基礎科目であるため、 位追認試験に合格する必要がある。			
注意点 本科目の Webシラ 授業の原	D区分 バスと本校 属性・履	授業は講義 題に取り組 物理では公 ら演習に取必 実までに必が には出席す で履修要覧の科目 修上の区分	形式で行う。毎回むこと。 式(法則)や解決 り組むこと。積極 ず単位を修得した 超過し単位を修得 ること。	問題集の設問かまただ暗記する。 対に演習問題に 対ければならない けできなかった場	カと仕事、力学的工 の課題を出すので、 のではなく、公式(取り組み、解法を学 、単位を修得せず進 会は、進級しても単	ネルギー 演習ノー 法則)の んでほよ場 位追認試 優修要覧(·保存則な - 卜を用意 意味や適 い。この 合は、受験	だの事項について理解する。 意し作図や計算過程を記録しなが 調用できる場面をきちんと理解して 科目は専門基礎科目であるため、 位追認試験に合格する必要がある。 することができなくなるので、打 である「②専門基礎科目」であ			
注意点 本科目の Webシラ 授業の原	<u>の区分</u> バスと本校	授業は講義 題に取り組 物理では公 ら演習に取必 実までに必が には出席す で履修要覧の科目 修上の区分	形式で行う。毎回 むこと。 式(法則)や解注 り組むこと。積極 ず単位を修得した 超過し単位を修復 ること。	問題集の設問かまただ暗記する。 対に演習問題に 対ければならない けできなかった場	カと仕事、力学的工 ・ら課題を出すので、 のではなく、公式(取り組み、解法を学 ・単位を修得せず進 合は、進級しても単	ネルギー 演習ノー 法則)の んでほよ場 位追認試 優修要覧(·保存則な - 卜を用意 意味や適 い。この 合は、受験	どの事項について理解する。 意し作図や計算過程を記録しなが 調できる場面をきちんと理解して 科目は専門基礎科目であるため、 位追認試験に合格する必要がある することができなくなるので、打			
主意点 本科目の Webシラ 授業の原 」アクラ	D区分 バスと本校 属性・履 Fィブラー:	授業は講義 題に取り組 物理では公 ら演習に取必 実までに必が には出席す で履修要覧の科目 修上の区分	形式で行う。毎回むこと。 式(法則)や解決 り組むこと。積極 ず単位を修得した 超過し単位を修得 ること。	問題集の設問かまただ暗記する。 対に演習問題に 対ければならない けできなかった場	カと仕事、力学的工 の課題を出すので、 のではなく、公式(取り組み、解法を学 、単位を修得せず進 会は、進級しても単	ネルギー 演習ノー 法則)の しんでほり 級位追認試 優修要覧(·保存則な - 卜を用意 意味や適 い。この 合は、受験	だの事項について理解する。 意し作図や計算過程を記録しなが 調用できる場面をきちんと理解して 科目は専門基礎科目であるため、 位追認試験に合格する必要がある。 することができなくなるので、打 である「②専門基礎科目」であ			
注意点 本科目の Webシラ 授業の原 コアクラ	D区分 バスと本校 属性・履 Fィブラー:	授業は講義 題に取り組 物理では公 ら演習に取 業までに必 欠課時数が には出席す を履修要覧の科目 修上の区分	形式で行う。毎回むこと。 式 (法則) や解波 対組むこと。積極 ず単位を修得した 超過し単位を修復 ること。 I区分では表記が類	問題集の設問かまただ暗記する。 対に演習問題に 対ければならない けできなかった場	カと仕事、力学的工 の課題を出すので、 のではなく、公式(取り組み、解法を学 、単位を修得せず進 会は、進級しても単	ネルギー 演習ノー 法しいでは、 はんした場は 位位に認は を要覧()	- 保存則な - トを用意 - 高味や適の - 高味での - 合は、単 - 会は、単 - を受験 - 10)に言	だの事項について理解する。 動し作図や計算過程を記録しなが 関できる場面をきちんと理解しず 科目は専門基礎科目であるため、 位追認試験に合格する必要がある。 することができなくなるので、 登載する「②専門基礎科目」であ			
主意点 本科目の Webシラ 受業の原 」アクラ	D区分 バスと本校 属性・履 Fィブラー:	授業は講義 題に取り組 物理では公 ら済習でに取 実までも数が には出席す を履修要覧の科目 修上の区分 ニング	形式で行う。毎回むこと。 式 (法則) や解波り組むこと。積極ず単位を修得した超過し単位を修復ること。 図 ICT 利用	問題集の設問かまただ暗記するは をただ暗記するは 的に演習問題に ければならないまできなかった場	カと仕事、力学的工 ・ら課題を出すので、 のではなく、公式(取り組み、解法を学 、単位を修得せず進 合は、進級しても単 ること。本科目は履	ネルギー 演習ノー 法則)の しんでした場 位追認器 が 優修要覧(·保存則な - 卜を用意 意味や適 い。この 合は、受験	だの事項について理解する。 動し作図や計算過程を記録しなが 関できる場面をきちんと理解しず 科目は専門基礎科目であるため、 位追認試験に合格する必要がある。 することができなくなるので、 登載する「②専門基礎科目」であ			
主意点 本科目の Webシラ 授業の原 」アクラ	D区分 バスと本校 属性・履 Fィブラー:	授業は講義組物にはないではないではないではないではないではないではないではないではないではないで	形式で行う。毎回 むこと。 式 (法則) や解決 り組むこと。 積極 ず単位を修得した 超過し単位を修 ること。 I区分では表記が 図 ICT 利用 (業内容 イダンス、SI単	問題集の設問かまただ暗記するは をただ暗記するは 的に演習問題に ければならないまできなかった場	カと仕事、力学的工 ・ら課題を出すので、 のではなく、公式(取り組み、解法を学 、単位を修得せず進 合は、進級しても単 ること。本科目は履	ネルギー 演習ノー 法則)の しんでした場 位 追認認 が 過ごとの 1	- 保存則な - トを用意 - 高味や適の - 高味での - 合は、単 - 会は、単 - を受験 - 10)に言	だの事項について理解する。 動し作図や計算過程を記録しなが 関できる場面をきちんと理解しず 科目は専門基礎科目であるため、 位追認試験に合格する必要がある。 することができなくなるので、 登載する「②専門基礎科目」であ			
主意点 本科目の Webシラ 授業の原 」アクラ	D区分 バスと本校 属性・履 Fィブラー:	授業は講義組物理では公式を表現では出席する。 を履修要覧の科目を上の区分のです。 週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週	形式で行う。毎回むこと。 式(法則)や解決 り組むこと。 積極が単位を修得した 超過し単位を修復 ること。 IC分では表記が 図 ICT 利用 業内容 イダンス、SI単	問題集の設問か をただ暗記する。 的に演習問題に はければならない。 できなかった場 異なるので注意す	カと仕事、力学的工 ・ら課題を出すので、 のではなく、公式(取り組み、解法を学 、単位を修得せず進 合は、進級しても単 ること。本科目は履	ネルギー 演習ノー 法別)のし 法ん級しにた 認いでにた。 最修要覧() 過ごとの 1 1	- 保存則な - トを用意 - 高味や適の - 高味での - 合は、単 - 会は、単 - を受験 - 10)に言	だの事項について理解する。 動し作図や計算過程を記録しなが 関できる場面をきちんと理解しず 科目は専門基礎科目であるため、 位追認試験に合格する必要がある。 することができなくなるので、 登載する「②専門基礎科目」であ			
主意点 本科目の Webシラ 受業の原 」アクラ	D区分 バスと本校 属性・履 Fィブラー:	授業は講義組物理では公式を表現では出席する。 物理では公式を表現では出席する。 を履修要覧の科目修上の区分 ニング のは、対策を表現である。 週のでは、対策を表現である。 週のでは、対策を表現である。 週のでは、対策を表現である。 週のでは、対策を表現である。 週のでは、対策を表現である。 週のでは、対策を表現である。 週のでは、対策を表現である。 週のでは、対策を表現である。 週のでは、対策を表現である。 週のでは、対策を表現である。 週のでは、対策を表現である。 のでは、対策を表現でする。 のでは、対策を表現である。 のでは、対策を表現でする。 のでは、対策を表現でする。 のでは、対策を表現でする。 のでは、対策を表現でする。 のでは、対策を表現でする。 のでは、対策を表現でする。 のでは、対策を表現でする。 のでは、対策を表現でする。 のでは、対策を表現でする。 のでは、対策を表現でする。 のでは、対策を表現でする。 のでは、対策を表現でする。 のでは、対策を表現でする。 のでは、対策を表現でする。 のでは、対策を表現でする。 のでは、対策を表現です。 のでは、対策を表現でする。 のでは、対策を表現でする。 のでは、対策を表現でする。 のでは、なり、なり、なり、なり、なり、なり、なり、なり、なり、なり、なり、なり、なり、	形式で行う。毎回むこと。 式(法則)や解説 り組むこと。積極が単位を修得した。 超公では表記が 図 ICT 利用 業内容 イダンス、SI単位と速度 成速度、相対速度	問題集の設問か をただ暗記する。 的に演習問題に はければならない。 できなかった場 異なるので注意す	カと仕事、力学的工 ・ら課題を出すので、 のではなく、公式(取り組み、解法を学 、単位を修得せず進 合は、進級しても単 ること。本科目は履	ネルギー 演習ノー 法人級しにた はのしにた はのでした。 ではた。 にはた。 にはた。 にはた。 にはた。 にはた。 にはた	- 保存則な - トを用意 - 高味や適の - 高味での - 合は、単 - 会は、単 - を受験 - 10)に言	だの事項について理解する。 動し作図や計算過程を記録しなが 関できる場面をきちんと理解しず 科目は専門基礎科目であるため、 位追認試験に合格する必要がある。 することができなくなるので、 登載する「②専門基礎科目」であ			
主意点 本科目の Webシラ 受業の原 」アクラ	D区分 バスと本校 属性・履行 Fィブラー: 画	授業は講義組物理では公式を対している。 対している では、対している では、対している では、対している では、対している できない できない できない できない できない できない かい できない かい できない かい できない かい できない はい はい かい できない はい	形式で行う。毎回むこと。 式(法則)や解説りは記さと。 式(法則)との積極が単位を修得した。 超過しと。 はの分では表記が 図 ICT 利用 「業内容 イダンス、SI単位と速度 に成速度、相対速度 は速度	1 問題集の設問が をただ暗記する。 前に演習問題に ければならない すできなかった場 異なるので注意す 単位、有効数字、	カと仕事、力学的工 ・ら課題を出すので、 のではなく、公式(取り組み、解法を学 、単位を修得せず進 合は、進級しても単 ること。本科目は履	ネルギー 演習ノー 法しいでは、 法しいでは、 はいでは、 はいでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	- 保存則な - トを用意 - 高味や適の - 高味での - 合は、単 - 会は、単 - を受験 - 10)に言	だの事項について理解する。 動し作図や計算過程を記録しなが 関できる場面をきちんと理解しず 科目は専門基礎科目であるため、 位追認試験に合格する必要がある。 することができなくなるので、 登載する「②専門基礎科目」であ			
主意点 本科目の Webシラ 受業の原 」アクラ	D区分 バスと本校 属性・履 Fィブラー:	授業は講義組物理では公式を表現では、現実では、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対して	形式で行う。毎回むこと。 式(法則)や解説 り組むこと。積極が単位を修得した。 超公では表記が 図 ICT 利用 業内容 イダンス、SI単位と速度 成速度、相対速度	1 問題集の設問が をただ暗記する。 前に演習問題に ければならない すできなかった場 異なるので注意す 単位、有効数字、	カと仕事、力学的工 ・ら課題を出すので、 のではなく、公式(取り組み、解法を学 、単位を修得せず進 合は、進級しても単 ること。本科目は履	ネルギー 演習ノー 法人級しにた はのしにた はのでした。 ではた。 にはた。 にはた。 にはた。 にはた。 にはた。 にはた	- 保存則な - トを用意 - 高味や適の - 高味での - 合は、単 - 会は、単 - を受験 - 10)に言	だの事項について理解する。 動し作図や計算過程を記録しなが 関できる場面をきちんと理解しず 科目は専門基礎科目であるため、 位追認試験に合格する必要がある。 することができなくなるので、 登載する「②専門基礎科目」であ			
主意点 本科目の Webシラ 受業の原 コアクラ	D区分 バスと本校 属性・履行 Fィブラー: 画	授業は講義組 物理では公式 学課 は 取 では に 取 が 定 まま まま で に で に で に で い が で に さ い が で に は 出 席 を 優修 要 覧 の 科 目 修 上 の 区 分 こ ング 週 1 週 グ 変 合 加 3 週 4 週 5 週 等	形式で行う。毎回むこと。 式(法則)や解説りは記さと。 式(法則)との積極が単位を修得した。 超過しと。 はの分では表記が 図 ICT 利用 「業内容 イダンス、SI単位と速度 に成速度、相対速度 は速度	1 問題集の設問が をただ暗記する 対に演習問題に ければならない すできなかった場 異なるので注意す	カと仕事、力学的工 ・ら課題を出すので、 のではなく、公式(取り組み、解法を学 、単位を修得せず進 合は、進級しても単 ること。本科目は履	ネルギー 演習ノー 法しいでは、 法しいでは、 はいでは、 はいでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	- 保存則な - トを用意 - 高味や適の - 高味での - 合は、単 - 会は、単 - を受験 - 10)に言	だの事項について理解する。 動し作図や計算過程を記録しなが 関できる場面をきちんと理解しず 科目は専門基礎科目であるため、 位追認試験に合格する必要がある。 することができなくなるので、 登載する「②専門基礎科目」であ			
主意点 本科目の Webシラ 受業の原 」アクラ	D区分 バスと本校 属性・履行 Fィブラー: 画	授業は講義組物理では公式の 対策 は 関 では の 対 で に は 取 が で に で に で に で い で に で い で が で に は 出 席 が で に す か で と が で と か で と が で と か で と が で と か で と が で か で と が で か で る な で る か で な で な で な で る か で な で な で な で な で な で な で な で な で な で	形式で行う。毎回むこと。 式(法則)や解説り組むこと。積値などのでは表記が見ばしませんを修得した。	1 問題集の設問が をただ暗記する 対に演習問題に ければならない すできなかった場 異なるので注意す	カと仕事、力学的工 ・ら課題を出すので、 のではなく、公式(取り組み、解法を学 、単位を修得せず進 合は、進級しても単 ること。本科目は履	ネルギー 演習ノー 法んいでは、 ほんのした思試 を要覧() 1 1 1	- 保存則な - トを用意 - 高味や適の - 高味での - 合は、単 - 会は、単 - を受験 - 10)に言	だの事項について理解する。 動し作図や計算過程を記録しなが 関できる場面をきちんと理解しず 科目は専門基礎科目であるため、 位追認試験に合格する必要がある。 することができなくなるので、 登載する「②専門基礎科目」であ			
主意点 Webシラ 授業の原 ファクラ	D区分 バスと本校 属性・履行 Fィブラー: 画	授業は講義組 物では公式を がら選手ではいる。 を変しているがでいる。 を変しているができる。 を変しているができる。 を変しているができる。 を変しているができる。 を変しているができる。 を変しているができる。 を変しているができる。 を変しているができる。 は、できるできる。 は、できるできる。 は、できるできる。 は、できるできる。 は、できるできる。 は、できるできる。 は、できるできる。 は、できるできる。 は、できるできる。 は、できるできる。 は、できるできる。 は、できるできる。 は、できるできる。 は、できるできる。 は、できるできる。 は、できるできる。 は、できるできる。 は、できるできるできる。 は、できるできるできる。 は、できるできるできる。 は、できるできるできる。 は、できるできるできるできる。 は、できるできるできるできる。 は、できるできるできるできるできる。 は、できるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできる。 は、できるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるできるで	形式で行う。毎回むこと。 式(法則)や解えが 式(法則) や解えが 式 (法則) や解えが 対 組むこと。 積 が 単 位 と 修得 した を 修ること。 区分では表記が 類	1 問題集の設問が をただ暗記する 認的に演習問題に ければならない すできなかった場 異なるので注意す 単位、有効数字、	カと仕事、力学的工 の課題を出すので、 のではなく、公式(取り組み、解法を学 、単位を修得せず進 合は、進級しても単 ること。本科目は履 □ 遠隔授業対加 速さ	ネルギー 注 注 注 注 に に に に に に に に に に に に に	- 保存則な - トを用意 - 高味や適の - 高味での - 合は、単 - 会は、単 - を受験 - 10)に言	だの事項について理解する。 動し作図や計算過程を記録しなが 関できる場面をきちんと理解しず 科目は専門基礎科目であるため、 位追認試験に合格する必要がある。 することができなくなるので、 登載する「②専門基礎科目」であ			
注意点 本科目の Webシラ 授業の原 ファクラ	D区分 バスと本校 属性・履行 Fィブラー: 画	授題	形式で行う。毎回れている。毎回れてでと、 (法則) や解えている。 (法則) や解えている。 (注意できる) では、 (はずり) では表記がり では表記がり では表記がり では、 (本では、 (本では	問題集の設問か をただ暗記する。 的に演習問題に はければならない。 できなかった場 異なるので注意す 単位、有効数字、 要位、有効数字、	カと仕事、力学的工 の課題を出すので、 のではなく、公式(取り組み、解法を学 、単位を修得せず進 合は、進級しても単 ること。本科目は履 □ 遠隔授業対加 速さ	ネルギー/ 演 割削 の の し は	- 保存則な - トを用意 - 高味や適の - 高味での - 合は、単 - 会は、単 - を受験 - 10)に言	だの事項について理解する。 動し作図や計算過程を記録しなが 関できる場面をきちんと理解しず 科目は専門基礎科目であるため、 位追認試験に合格する必要がある。 することができなくなるので、 登載する「②専門基礎科目」であ			
注意点 本科目の Webシラ 授業の原 ファクラ	D区分 バスと本校 属性・履行 ティブラー: 画	授題 は 講義組 公取必がす を を	形式で行う。毎回れてで行う。毎回れてで行う。毎回れてと。 式(法則) や解えが では表記が が 単位しと。	問題集の設問か をただ暗記する。 的に演習問題に はければならない。 できなかった場 異なるので注意す 単位、有効数字、 要位、有効数字、	カと仕事、力学的工 の課題を出すので、 のではなく、公式(取り組み、解法を学 、単位を修得せず進 合は、進級しても単 ること。本科目は履 □ 遠隔授業対加 速さ	ネルギー/ 演習リーのし 法んでした場 がした認 ができる。 ができる。 ができる。 ができる。 ができる。 ができる。 ができる。 ができる。 でき。 できる。 できる。 でき。 できる。 できる。 できる。 で。 できる。 できる。 できる。 できる。	- 保存則な - トを用意 - 高味や適の - 高味での - 合は、単 - 会は、単 - を受験 - 10)に言	だの事項について理解する。 動し作図や計算過程を記録しなが 関できる場面をきちんと理解しず 科目は専門基礎科目であるため、 位追認試験に合格する必要がある。 することができなくなるので、 登載する「②専門基礎科目」であ			
主意点 Webシラ 授業の原 ファクラ	D区分 バスと本校 属性・履行 ティブラー: 画	授題 は 講 報 は は 講 報 は は は は は は は は は は は は は	形式で行う。毎回むこと。 式(法則) や解え が式と。 式(法則) や解え がず単位と。 ほと。 ほとを値をを値なと。 区分では表記が 図 ICT 利用 業内容 イグと速度 が速度 相対速度 に放速度 相対速度 に放速度 はい速度 に加速度直線運動の が減速度 はいましま。 はいまましま。 はいままましま。 はいままます。 はいまままます。 はいままます。 はいままます。 はいままます。 はいままます。 はいままます。 はいままます。 はいまままます。 はいまままます。 はいまままます。 はいまままます。 はいまままます。 はいまままます。 はいままままます。 はいまままままます。 はいまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	1 問題集の設問が まただ暗記する。 的に演習問題に はければならない。 はなるので注意す 単位、有効数字、 単位、有効数字、 を を を と はなるので注意す	カと仕事、力学的工 から課題を出すので、 のではなく、解法を学 のではなく、解法を学 のは他を修得せず進 合は、進級しても単 ること。本科目は履 □ 遠隔授業対原 速さ	ネルギー 注 注 注 注 注 に に に に に に に に に に に に に	- 保存則な - トを用意 - 高味や適の - 高味での - 合は、単 - 会は、単 - を受験 - 10)に言	だの事項について理解する。 動し作図や計算過程を記録しなが 関できる場面をきちんと理解しず 科目は専門基礎科目であるため、 位追認試験に合格する必要がある。 することができなくなるので、 登載する「②専門基礎科目」であ			
主意点 Webシラ 授業の原 ファクラ	D区分 バスと本校 属性・履行 ティブラー: 画	授題 は	形式で行う。毎回むこと。 式(法則) や解えが 式組位をと。	1 問題集の設問が まただ暗記する。 的に演習問題に はければならない。 はなるので注意す 単位、有効数字、 単位、有効数字、 を を を と はなるので注意す	カと仕事、力学的工 から課題を出すので、 のではなく、解法を学 のではなく、解法を学 のは他を修得せず進 合は、進級しても単 ること。本科目は履 □ 遠隔授業対原 速さ	ネルギー 注 注 注 注 注 に に に に に に に に に に に に に	- 保存則な - トを用意 - 高味や適の - 高味での - 合は、単 - 会は、単 - を受験 - 10)に言	だの事項について理解する。 動し作図や計算過程を記録しなが 関できる場面をきちんと理解しず 科目は専門基礎科目であるため、 位追認試験に合格する必要がある。 することができなくなるので、 登載する「②専門基礎科目」であ			
注意点 本科目の Webシラ 授業の原 ファクラ	D区分 バスと本校 属性・履 ティブラー: 国	授題は 講義組 公	形式で行う。毎回むこと。 (法則) や解え が 式 (1 問題集の設問が まただ暗記する。 的に演習問題に はければならない。 はなるので注意す 単位、有効数字、 単位、有効数字、 を を を と はなるので注意す	カと仕事、力学的工 から課題を出すので、 のではなく、解法を学 のではなく、解法を学 のは他を修得せず進 合は、進級しても単 ること。本科目は履 □ 遠隔授業対原 速さ	ネルギー 注 注 注 注 注 に に に に に に に に に に に に に	- 保存則な - トを用意 - 高味や適の - 高味での - 合は、単 - 会は、単 - を受験 - 10)に言	だの事項について理解する。 動し作図や計算過程を記録しなが 関できる場面をきちんと理解しず 科目は専門基礎科目であるため、 位追認試験に合格する必要がある。 することができなくなるので、 登載する「②専門基礎科目」であ			
主意点 Webシラ 授業の原 ファクラ	D区分 バスと本校 属性・履行 ティブラー: 画	授題 は取びはにに数字には	形式で行う。毎回むこと。 (法則) や精神のでは、法則のとのでは、法則のとのでは、表別では、表別では、表別では、表別では、表別では、表別では、表別では、表別	1 問題集の設問が まただ暗記する。 前に演習問題に ければならない。 まできなかった場 異なるので注意す 単位、有効数字、 を を を を を は に は に は に は に に は に に は に に は に に に に に に に に に に に に に	カと仕事、力学的工 から課題を出すので、 のではなく、解法を学 のではなく、解法を学 のは他を修得せず進 合は、進級しても単 ること。本科目は履 □ 遠隔授業対原 速さ	ネルギー/ 注 注 注 に に に に に に に に に に に に に	- 保存則な - トを用意 - 高味や適の - 高味での - 合は、単 - 会は、単 - を受験 - 10)に言	だの事項について理解する。 動し作図や計算過程を記録しなが 関できる場面をきちんと理解しず 科目は専門基礎科目であるため、 位追認試験に合格する必要がある。 することができなくなるので、 登載する「②専門基礎科目」であ			
注意点 本科目の Webシラ 授業の原 ファクラ	D区分 バスと本校 属性・履 ティブラー: 国	授題 は取びはにに数字には	形式で行う。毎回むこと。 (法則) や解え が 式 (1 問題集の設問が まただ暗記する。 前に演習問題に ければならない。 まできなかった場 異なるので注意す 単位、有効数字、 を を を を を は に は に は に は に に は に に は に に は に に に に に に に に に に に に に	カと仕事、力学的工 から課題を出すので、 のではなく、解法を学 のではなく、解法を学 のは他を修得せず進 合は、進級しても単 ること。本科目は履 □ 遠隔授業対原 速さ	ネルギー 注 注 注 注 注 に に に に に に に に に に に に に	- 保存則な - トを用意 - 高味や適の - 高味での - 合は、単 - 会は、単 - を受験 - 10)に言	だの事項について理解する。 動し作図や計算過程を記録しなが 関できる場面をきちんと理解しず 科目は専門基礎科目であるため、 位追認試験に合格する必要がある。 することができなくなるので、 登載する「②専門基礎科目」であ			
注意点 本科目の Webシラ 授業の原 ファクラ	D区分 バスと本校 属性・履 ティブラー: 国	接続 接	形式で行う。毎回むこと。 (法則) や精神のでは、法則のとのでは、法則のとのでは、表別では、表別では、表別では、表別では、表別では、表別では、表別では、表別	1 問題集の設問が まただ暗記する。 前に演習問題に ければならない。 まできなかった場 異なるので注意す 単位、有効数字、 を を を を を は に は に は に は に に は に に は に に は に に に に に に に に に に に に に	カと仕事、力学的工 から課題を出すので、 のではなく、解法を学 のではなく、解法を学 のは他を修得せず進 合は、進級しても単 ること。本科目は履 □ 遠隔授業対原 速さ	ネルギー/ 注 注 注 に に に に に に に に に に に に に	- 保存則な - トを用意 - 高味や適の - 高味での - 合は、単 - 会は、単 - を受験 - 10)に言	だの事項について理解する。 動し作図や計算過程を記録しなが 関できる場面をきちんと理解しず 科目は専門基礎科目であるため、 位追認試験に合格する必要がある。 することができなくなるので、 登載する「②専門基礎科目」であ			
注意点 本科目の Webシラ 授業の原	D区分 バスと本校 属性・履 ティブラー: 国	接続 接続 接続 接続 接続 接続 接続 接続	形式で行う。毎回むこと。	1 問題集の設問が まただ暗記する。 前に演習問題に ければならない。 まできなかった場 異なるので注意す 単位、有効数字、 を を を を を は に は に は に は に に は に に は に に は に に に に に に に に に に に に に	カと仕事、力学的工 から課題を出すので、 のではなく、解法を学 のではなく、解法を学 のは他を修得せず進 合は、進級しても単 ること。本科目は履 □ 遠隔授業対原 速さ	ネルギー/ 演習リーのし 法んに記載 過ごとの 1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 2	- 保存則な - トを用意 - 高味や適の - 高味での - 合は、単 - 会は、単 - を受験 - 10)に言	だの事項について理解する。 動し作図や計算過程を記録しなが 関できる場面をきちんと理解しず 科目は専門基礎科目であるため、 位追認試験に合格する必要がある。 することができなくなるので、 登載する「②専門基礎科目」であ			
注意点 本科目の Webシラ 授業の原 □ アクラ	D区分 バスと本校 属性・履 ティブラー: 国	接触 接触 接触 接触 接触 接触 接触 接触	形式ごと。 毎回 では、	1 問題集の設問が まただ暗記する。 的に演習問題に はければなかった場 異なるので注意す 単位、有効数字、 要位、有効数字、 を を を を を は を は を を を を を を を を を を を を を	カと仕事、力学的工 から課題を出すので、 のではなく、解法を学 のではなく、解法を学 のは他を修得せず進 合は、進級しても単 ること。本科目は履 □ 遠隔授業対原 速さ	ネルギー/ 注	- 保存則な - トを用意 - 高味や適の - 高味での - 合は、単 - 会は、単 - を受験 - 10)に言	だの事項について理解する。 動し作図や計算過程を記録しなが 関できる場面をきちんと理解しず 科目は専門基礎科目であるため、 位追認試験に合格する必要がある。 することができなくなるので、 登載する「②専門基礎科目」であ			

			,	1 == 1	. / 1 			ام			
	3週 4週 5週							3			
				場の力と位置エネルギー 運動エネルギー				3			
<u>5週</u> 6週				<u>-イルギー</u> -エネルギー(
	6週 7週 8週										
				中間試験 試験返却、まとめ				3	2,3		
		9週			<u> </u>						
		10週			リエネルギー(3			
		11週			·運動量	本けおいさ		4			
		12週		運動量の変化と力和 運動量保存の法則		 積の関係		4			
	4thQ	13週				4					
		14週		三 三発係			4				
		15週	5週 期末記		明末試験 【験返却、まとめ		3,4				
		16週									
モデルコ	アカリキ	ニュラ	ムの当	学習に	内容と到道	 目標					
分類	1		<u></u>		学習内容	学習内容の到達目	 標			到達レベル	授業週
		1/-			1,,	速度と加速度の概				3	前1,前2
						平均の速度、平均		 3計算ができる。		3	前2
						直線及び平面運動合成・分解及び相	え、速度の	3	前3		
							の公式を用いて、	物体の変位、時間、	速度に関	3	前4,前5,前 6
						自由落下及び鉛直 ができる。	3	前8,前9			
						水平投射及び斜方ができる。	3	前9			
					物理	物体に作用するた		3	前11		
						力の合成と分解ができる。				3	前12
						質点にはたらくた	3	前12			
			物理			重力、弾性力、抗 る計算ができる。	3	前13			
						運動の三法則につ	3	前10,後 1,後2			
基礎的能力	自然科学	学物				運動方程式を用い どを求めることが	3	後1,後2			
						静止摩擦力がはたらいている場合の力のつりあいについて説明できる。 さる。				3	前14
						最大摩擦力に関する計算ができる。				3	前14
						動摩擦力に関する計算ができる。				3	前14
						仕事と仕事率に関	3	後3,後6			
						物体の運動エネル	3	後5			
						重力による位置エネルギーに関する計算ができる。				3	後4
						弾性力による位置エネルギーに関する計算ができる。				3	後4
						力学的エネルギー保存の法則について説明でき、その法則を用い て、物体の速度や変位などを求めることができる。			3	後9,後10	
						物体の質量と速度を用いて、運動量を求めることができる。				3	後11,後12
						物体の運動量変化が力積に等しいことを用いて、力積の大きさ、 速度変化及び加わる平均の力などを求めることができる。				3	後12,後13
						運動量保存の法則について説明でき、その法則や反発係数を用いて、物体の衝突、分裂及び合体に関して、速度変化などを求めることができる。				3	後13,後14
評価割合	ì					•				•	•
- · ·mu · ·		試験		課題提出		相互評価	態度	ポートフォリオ	オリオ その他 合計		†
総合評価割				20		0	0	0	0	100	
基礎的能力		80		20		0	0	0	0	100	
		0		0		0	0	0	0	0	
安门的能力	分野横断的能力 0					0	0	0	0		